

問題

Check!

1 日本の将来推計人口(令和5年推計)で2070年の総人口に最も近いのはどれか。

1. 3千万人
2. 4千万人
3. 9千万人
4. 1億2.4千万人

解説

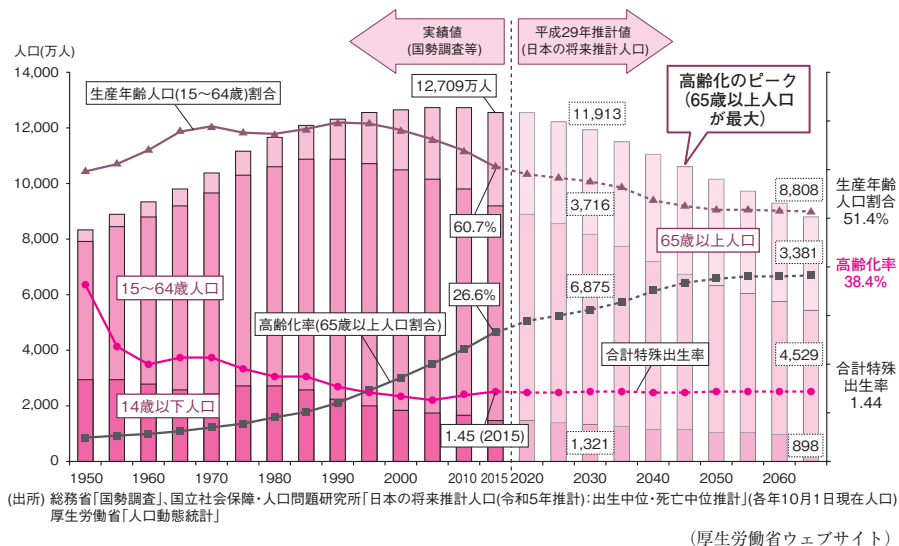
将来推計人口とは、全国の将来の出生、死亡及び国際人口移動について仮定を設け、これらに基づいて日本の将来の人口規模並びに年齢構成等の人口構造の推移について推計したものである。国立社会保障・人口問題研究所による将来推計によると、総人口はすでに減少期に入っており、今後も減少を続けるとされている。

- 1 ✕ 2024(令和6)年の老年人口(65歳以上)は3,624万3千人と前年に比べ約1万6千人増加し、高齢化率は29.3%となっている。2070(令和52)年には老年人口は3,367万1千人となり、高齢化率は**38.7%**に達すると推計されている。
- 2 ✕ 2070(令和52)年には生産年齢人口が約4,535万人になると推計される。その場合、**1人の高齢者**に対して**1.3人の現役世代**という比率になり、現役世代の負担が大きくなる。
- 3 ○ 日本の総人口は2056年には9,965万人と1億人を割り込み、2070年には8,700万人(**9千万人**)程度になる。
- 4 ✕ 2024年10月1日現在の総人口が1億2,380万2千人(**約1億2.4千万人**)である。

正答
3

ワンポイントアドバイス

● 将来推計人口 年次推移



問 題

Check!

2 2023(令和5)年の患者調査結果において、平均在院日数の最も長い疾患はどれか。

1. 悪性新生物
2. 脳血管疾患
3. 結核
4. 統合失調症等

必修問題

解 説

平均在院日数は、患者調査から算出される。9月中の1か月間の退院患者の在院期間の平均で、患者属性(傷病、性、年齢など)別に算出される。2023(令和5)年9月患者調査では、**統合失調症等**が569.5日と圧倒的に長く、次いで血管性等の認知症が285.2日となっており、精神疾患において長期となっている。

1 ✕ 悪性新生物による平均在院日数は14.4日間である。

2 ✕ 脳血管疾患による平均在院日数は68.9日である。

3 ✕ 結核による平均在院日数は44.3日である。

4 ○ 1960年代に統合失調症など精神疾患の患者を社会から隔離し、長期入院させる受け皿として精神病棟のベッド数を増やす政策を国がとったことなどから、日本においては精神病床数が欧米に比べて多く、**長期入院**になる傾向があった。近年は精神疾患の患者の社会復帰を促進する方針に転換し、従来型の長期入院患者は**減少**している。高齢の統合失調症等の患者では、**ホスピタリズム**やいまだに残る**社会的偏見**、**差別**から社会復帰が困難となり長期入院となっている。

正 答
4

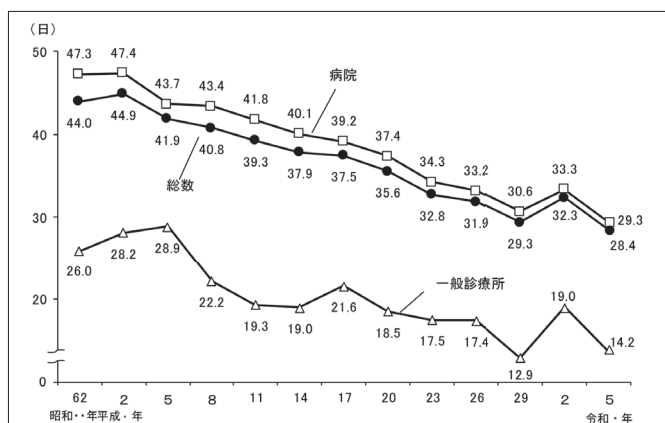
ワンポイントアドバイス

■平均在院日数

- 2023(令和5)年9月中の全国の退院患者について、平均在院日数を施設の種類別にみると、

「病院」**29.3日**、「一般診療所」**14.2日**となっている。

●施設の種類別にみた退院患者の平均在院日数の年次推移



*各年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである
(厚生労働省ウェブサイト)

問題

Check!

3 ビルの解体工事に従事した経験が発症リスクとなるのはどれか。

1. じん肺
2. 電離放射線障害
3. VDT障害
4. 睡眠相後退症候群

解説

特定の職業への従事により発生する疾病を、労働安全衛生法では**職業性疾病**という。職業性疾病には労働環境が影響する。ビルの解体工事では、粉じんを吸入することによって**じん肺**の発症のリスクが高まる。なお、業務上疾病は労働基準法の法律用語で、労働者の業務上の負傷・疾病の総称である。じん肺は労働安全衛生法では**職業性疾病**であり、労働基準法では**業務上疾病**である。

- 1 ○ 粉じん作業従事労働者に対する健康管理では、**じん肺法**により事業者じん肺健康診断（就業時、定期、定期外、離職時）を行うことが義務づけられている。退職後でも、じん肺の所見を有する者は都道府県労働局長に対してじん肺管理区分の決定申請ができる。
- 2 ✕ 電離放射線障害は、医療における放射線診断や治療、放射線を利用した工業用の非破壊検査、原子力発電の燃料などから発生する電離放射線への曝露によって生じる。急性症状として**悪心・嘔吐**、**倦怠感**などの前駆症状に続き、骨髄障害による**汎血球減少**、**紅斑**や**脱毛**などの皮膚障害などが起こるほか、晩期症状として**白血病**や**皮膚癌**、**白内障**などが発症する。被曝が100mSv（ミリシーベルト）を超えると、生涯癌死亡リスクが0.5%増加し、妊娠の時期によっては胎児に影響が生じる可能性がある。
- 3 ✕ VDT障害は、コンピューター端末機などでディスプレイやキーボードなどを使用して行う作業によって生じる、**眼の疲労症状**や頸肩腕症候群に類似した**疲労症状**、**神経負担**などを示す症状などをいう。
- 4 ✕ 睡眠相後退症候群（DSPS）は、看護師や工場生産ライン従事者など不規則交替制勤務者に近年増加している。不規則交代勤務のために**サーカディアンリズム**がずれてしまい、夜中になかなか眠れず、朝はまったく起きられないという生活リズムのずれが生じる。そのために、遅刻や欠勤が多くなることが問題となっている。

正答

1

ワンポイントアドバイス

■労働衛生対策

- 日本では、業務内容の変化に即応した健康障害防止対策の展開、労働者の健康の保持増進と快適な職場環境（労働環境）の形成などを目的とした労働衛生対策が行われている。
- 労働衛生対策は、**作業環境管理**、**作業管理**、**健康管理**の3管理を基本とする。

●労働衛生対策に関する法律

労働安全衛生法	労働者の健康の保持増進と、労働災害の予防のための事業所における対策などを規定
じん肺法	じん肺に関する適正な予防、および健康管理その他の必要な措置について規定
作業環境測定法	適正な作業環境の確保を目的に作業環境の測定に関する作業環境測定士の資格、および作業環境測定機関等について規定
労働災害補償保険法	業務災害による傷病・障害・死亡に対して必要な医療サービスや、金銭給付を規定
労働基準法	労働者保護のために労働条件の最低基準を規定

問題

Check!

4 地域住民であることのみが加入要件である医療保険はどれか。

1. 後期高齢者医療
2. 国民健康保険
3. 健康保険
4. 船員保険

解説

日本では、国民全員を公的医療保険で保障するために、社会保険方式による医療保険制度があり、**国民皆保険**が実現されている。医療保険では、被保険者が医療機関を自由に選び(**フリーアクセス**)、安い医療費で高度な医療を受けることができるシステムとなっており、世界でも**最高レベル**の保健医療水準と平均寿命が実現している。

- 1 **×** 後期高齢者医療は、**75歳以上**(65～74歳で一定の障害の状態にあり広域連合の認定を受けた者を含む)が加入要件となる。保険者は、都道府県単位ですべての市町村が加入する後期高齢者医療広域連合である。
- 2 **○** 国民健康保険は、保険者の**地域の住民**であることが加入要件になる。保険者は**市町村**および**特別区**、**都道府県**、または被雇用者であってかつ同業者である事業者が集まって都道府県ごとにつくった**国民健康保険組合**である。
- 3 **×** 健康保険は**職域保険(被用者保険)**に分類され、一般企業などの被雇用者であることが加入要件となる。保険者は**健康保険組合**または**全国健康保険協会**である。
- 4 **×** 船員保険は職域保険に分類され、加入要件は**船員**として船舶所有者に使用されることである。保険者は、全国健康保険協会である。

正答
2

ワンポイントアドバイス

■社会保険

- 国が中心となって人々の生活を保障する。
- 保険事故(疾病・負傷、老齢、障害による生活上の問題)が生じた場合に一定の**保険給付**を行う。
- 保険給付には、**現金給付**と**現物給付**がある。
- 日本国民で一定の条件に合致する者は**強制加入**である。
- 保険者は保険の種類によって異なる。
- 強制加入による被保険者は、保険料を支払い、保険事故があった場合には給付を受けられる。

■おもな社会保険の種類

- ①**医療保険**：疾病、負傷(業務上のものを除く)、出産、死亡に際して保険給付を行う。
- ②**年金保険**：国民年金、厚生年金、共済年金。老齢や障害に対して保険給付を行う。
- ③**介護保険**：要介護・要支援と認定された者に

対して保険給付を行う。

- ④**労働者災害補償保険**：業務災害、通勤災害に遭った者に対して保険給付を行う。
- ⑤**雇用保険**：失業者等に対して保険給付を行う。

国試過去問題(101回午前4)

医療保険の給付の対象となるのはどれか。

1. 健康診断
2. 予防接種
3. 美容整形
4. 疾病の診察

日本では1961(昭和36)年に社会保険制度である医療保険の国民皆保険が実現し、誰もが安心して医療を受けられ、世界最高レベルの平均寿命と保健医療水準を達成している。医療保険では、国民が病気・けが・出産・死亡したときに、必要な医療の給付や手当金の支給などが行われる。疾病の診察は、療養の給付として医療保険から基本自己負担3割で現物給付される。健康診断や予防接種、美容整形は医療保険が利用できず、全額自己負担となる。正答 4